

## サイクルツーリズムに関する取組について

2020.05 経済部観光局

## 1 観光局の所管事業

## (1) サイクルツーリズム推進事業

自転車輸送に関する利便性の検証や周遊拠点の整備などを行い、サイクルツーリズムの推進を図る。

## 【令和元年（2019年）度の取組】

分類	内容
データベースの構築	サイクリストの利便性向上のため、サイクリングコースや周遊拠点施設情報を整理したホームページを開設。 ( <a href="http://www.sapporocyclelabo.jp/cycle-tourism/">http://www.sapporocyclelabo.jp/cycle-tourism/</a> )
モニターツアーの実施	函館道南地区において、公共交通機関（JR、都市間バス、路線バス）を活用した自転車の輸送方法を検証。
周遊拠点整備	市町村に対し、サイクルラックや空気入れ、工具等のサイクリング関連備品の整備希望調査を実施。サイクルツーリズムに関する取組状況等を審査の上、29箇所に必要な備品を送付した。
セミナー開催	道内3箇所（中標津町、倶知安町、石狩市）でサイクルツーリズムに関する普及啓発セミナーを開催。

## 【令和2年（2020年）度の取組（予定）】

・2021年に北海道で開催予定のアドベンチャートラベル・ワールドサミット（ATWS）を見据え、ATWS実行委員会と連携した取組を進める。

区 分	内 容
データベースの多言語化	R元年度で構築したデータベース（HP）の多言語化を実施。
モニターツアーの実施	公共交通機関への自転車積込み等を検証するモニターツアーを実施。
周遊拠点整備	サイクリング関連の備品や設備を整備するとともに、サイクリングイベント等に対応できる地域人材の育成を図るため、セミナーを開催。

## (2) 北海道スポーツツーリズム戦略的誘客促進事業（サイクリング分を抜粋）

本道に優位性のあるスポーツを核としたツーリズム（スキー、サイクリング、マラソン、ゴルフ）の振興を図る。

## 【令和元年（2019年）度の取組】

区 分	内 容
インフルエンサー、旅行会社の招聘	対象：オーストラリア、シンガポール、台湾 内容：インフルエンサーや専門旅行会社を招聘し、魅力を発信
現地プロモーションの実施	対象：オーストラリア 内容：サイクリング目的の旅行先としての北海道の知名度が低い豪州でイベントやセールスコールを実施。
WEBプロモーション等の実施	対象：台湾、香港、タイ、その他英語圏（豪州、シンガポール） 内容：「FUN JAPAN」というサイトを活用し、北海道サイクリングガイドのHPへの集客プロモーションを実施。 その他、英語版パンフレットの増刷や北海道サイクリングガイドHPの改修を行った。

令和2年（2020年）度の取組は、新型コロナの影響のため未定。

## 2 北海道サイクルルート連携協議会について

サイクルツーリズムの振興による広域的な周遊観光等の地域振興の実現を目的に、官民が連携・協働した取組を行うため、昨年度、北海道開発局と道が設立した組織。

### 【組織概要】

団体名	北海道サイクルルート連携協議会														
設立年月日	令和元年（2019年）8月19日														
会長	国土交通省北海道開発局建設部道路計画課長														
事務局	国土交通省北海道開発局（道路計画課） 北海道（経済部観光局）														
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・（一社）北海道商工会議所連合会 業務推進部課長</li> <li>・（公社）北海道観光振興機構 地域観光部部長</li> <li>・（一社）シーニックバイウェイ支援センター 代表理事</li> <li>・北海道経済部観光局 参事</li> <li>・北海道建設部土木局 道路課長</li> <li>・国土交通省北海道運輸局交通政策部 計画調整官</li> <li>・国土交通省北海道運輸局観光部 観光地域振興課長</li> <li>・国土交通省北海道開発局建設部 道路計画課長</li> </ul>														
備考	<p>・協議会の推進方針に賛同し、質の高いサイクリング環境の整備に取り組むルート協議会を募集したところ、以下の7団体から応募があった。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 富良野美瑛広域観光推進協議会（現：富良野美瑛ルート協議会）</li> <li>② 石狩北部・増毛サイクルツーリズム推進協議会</li> <li>③ くしろサイクルツーリズム推進協議会</li> <li>④ 羊蹄ニセコ自転車走行協議会（Y N C A）</li> <li>⑤ オホーツクルート協議会</li> <li>⑥ （仮称）きた北海道サイクルツーリズム連携協議会</li> <li>⑦ 北海道 TOKACHI サイクルツーリズムルート協議会</li> </ol> <p>・協議会は、応募のあったルート協議会と連携・協働した取組を行うとともに、専門家によるアドバイザリー会議を開催し、各ルート協議会の取組に助言いただくこととしている。</p> <p><b>【アドバイザリー会議構成員（五十音順・敬称略）】</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">氏名</th> <th style="text-align: center;">所属</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>加藤 京子</td> <td>（一社）日本サイクルツーリズム推進協会 理事</td> </tr> <tr> <td>高橋 清</td> <td>北見工業大学地域未来デザイン工学科 教授</td> </tr> <tr> <td>萩原 亨</td> <td>北海道大学大学院工学研究院 教授</td> </tr> <tr> <td>宮内 忍</td> <td>NPO 法人日本風景街道コミュニティサイクルツーリズム研究委員会顧問</td> </tr> <tr> <td>屋井 鉄雄</td> <td>東京工業大学副学長 環境・社会理工学院教授</td> </tr> <tr> <td>矢ヶ崎 紀子</td> <td>東京女子大現代教養学部 国際社会学科教授</td> </tr> </tbody> </table>	氏名	所属	加藤 京子	（一社）日本サイクルツーリズム推進協会 理事	高橋 清	北見工業大学地域未来デザイン工学科 教授	萩原 亨	北海道大学大学院工学研究院 教授	宮内 忍	NPO 法人日本風景街道コミュニティサイクルツーリズム研究委員会顧問	屋井 鉄雄	東京工業大学副学長 環境・社会理工学院教授	矢ヶ崎 紀子	東京女子大現代教養学部 国際社会学科教授
氏名	所属														
加藤 京子	（一社）日本サイクルツーリズム推進協会 理事														
高橋 清	北見工業大学地域未来デザイン工学科 教授														
萩原 亨	北海道大学大学院工学研究院 教授														
宮内 忍	NPO 法人日本風景街道コミュニティサイクルツーリズム研究委員会顧問														
屋井 鉄雄	東京工業大学副学長 環境・社会理工学院教授														
矢ヶ崎 紀子	東京女子大現代教養学部 国際社会学科教授														
開催状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R1.8.19 第1回連携協議会</li> <li>・R2.1.23 第2回連携協議会及び第1回アドバイザリー会議</li> </ul>														